

第104期

中間事業報告書

(平成17年4月1日から平成17年9月30日まで)

OKI 沖電線株式会社

証券コード： 5 8 1 5

株主の皆様へ



取締役社長 榑 靖 夫

株主の皆様には平素格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

当社は平成17年9月30日をもって第104期中間期（平成17年4月1日から平成17年9月30日まで）を終了いたしましたので、中間事業報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善を反映した堅調な民間設備投資の増加等により、民需主導で緩やかな回復基調で推移してまいりました。

電線業界においても、銅電線出荷量は通信部門を除くすべての部門が堅調でありましたが、銅価格、副資材等の原材料高騰にともなう価格転嫁が遅れ、厳しい状況が続く中で推移してまいりました。

このような環境のもと、当社におきましては、グループ全体の収益力の強化と持続的・安定的な成長に向けて、

営業力の強化・生産の効率化など継続して行う一方、独自性のある新製品の開発を積極的に推進してまいりました。

当中間期の連結業績は売上高につきましては、前年同期比6.4%減の5,575百万円、経常利益は444百万円、中間純利益は239百万円となりました。

単独業績につきましては、売上高は前年同期比6.6%減の5,432百万円、中間純利益は235百万円となりました。

以上のような業績でありますので、当中間期の配当につきましては、1株当たり2円とさせていただきます。

今後の事業環境につきましては、堅調な企業業績・設備投資の増加などにより国内景気の好転が期待されるものの、銅・亜鉛、石化製品の高騰などの収益圧迫要因があり、依然として先行き予断を許さない状況であります。

このような事業環境の中、当社グループといたしましては、成長が期待できる分野での積極的な活動を展開し、グループ全体の収益力の強化と持続・安定的な成長を図ってまいり所存であります。

また、すべてのステークホルダーの皆様には信頼していただける企業を目指し、コーポレート・ガバナンスの更なる強化に努めてまいります。

株主各位におかれましても、一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成17年12月

セグメント別概況（連結）

〔電線・ケーブル事業〕

産業用機器関連向け電線・情報通信向け光製品が減少しましたが、放電加工機用電極線、アクセス系通信ケーブルは好調に推移したことにより、連結売上高は前年同期比0.7%増の3,535百万円となりました。連結営業利益は、生産効率の改善による原価低減活動など積極的に推進しましたが、銅価格等の高騰によるコストアップをすべて販売価格に転嫁することが難しく、前年同期比17.3%減の355百万円となりました。

〔電子部品他事業〕

昨年下半年に低迷したデジタル家電、半導体関連向けのフレキシブル基板は、市況の回復にともない増加しましたが、アミューズメント・産業用装置向けワイヤーハーネス、統合配線システムの受注減少により、連結売上高は前年同期比16.6%減の2,039百万円となりました。その結果、連結営業利益は前年同期比21.5%減の70百万円となりました。

（単位：百万円）

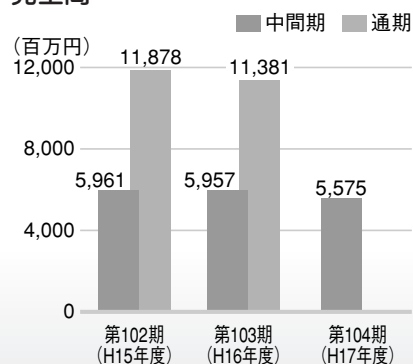
事業名	第102期 (平成15年度)				第103期 (平成16年度)				第104期 (平成17年度)	
	中間期		通期		中間期		通期		中間期	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
電線・ケーブル	3,529	195	7,113	503	3,511	429	6,955	826	3,535	355
電子部品他	2,432	△ 20	4,764	58	2,445	90	4,425	90	2,039	70
合計	5,961	175	11,878	562	5,957	519	11,381	917	5,575	425

（注）金額単位の表示

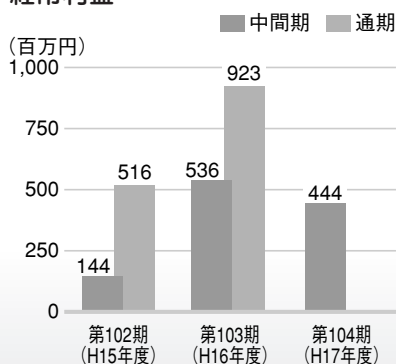
本中間事業報告書の本文および表中の金額につきましては、百万円未満は、切り捨てて表示しております。

主な経営指標（連結）

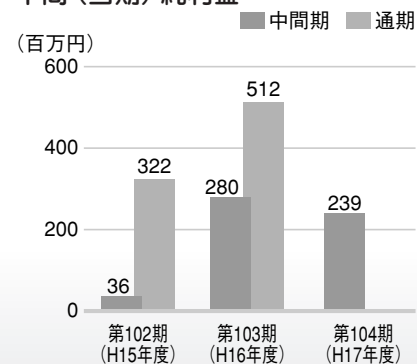
売上高



経常利益



中間(当期)純利益



連結財務諸表

中間連結貸借対照表

(平成17年9月30日現在)

科 目	金 額	構成比
(資産の部)		%
流動資産	7,539	49.5
現金及び預金	3,005	
受取手形及び売掛金	3,407	
棚卸資産	675	
繰延税金資産	322	
その他の	130	
貸倒引当金	△ 3	
固定資産	7,703	50.5
有形固定資産	6,271	41.1
建物及び構築物	3,853	
機械装置及び運搬具	864	
土地	1,403	
その他	149	
無形固定資産	29	0.2
投資その他の資産	1,403	9.2
投資有価証券	1,060	
繰延税金資産	174	
その他	174	
貸倒引当金	△ 5	
資産合計	15,242	100.0

(注) 有形固定資産の減価償却累計額 当中間期 13,127百万円

(単位：百万円)

科 目	金 額	構成比
(負債の部)		%
流動負債	3,037	19.9
支払手形及び買掛金	1,958	
短期借入金	210	
一年内返済予定の長期借入金	80	
その他	789	
固定負債	1,177	7.7
長期借入金	120	
退職給付引当金	618	
役員退職慰労引当金	103	
預り保証金	335	
負債合計	4,214	27.6
(少数株主持分)	—	—
(資本の部)		
資本金	4,304	28.2
資本剰余金	3,101	20.4
利益剰余金	3,320	21.8
その他有価証券評価差額金	428	2.8
自己株式	△126	△0.8
資本合計	11,028	72.4
負債・少数株主持分及び資本合計	15,242	100.0

中間連結損益計算書

(平成17年4月1日から平成17年9月30日まで)

(単位：百万円)

科 目	金 額	百分比
売上高	5,575	100.0%
売上原価	4,030	72.3
売上総利益	1,544	27.7
販売費及び一般管理費	1,118	20.1
営業利益	425	7.6
営業外収益	22	0.4
受取利息及び受取配当金	7	
為替差益	10	
その他	3	
営業外費用	3	0.1
支払利息	3	
その他	0	
経常利益	444	7.9
特別利益	—	—
特別損失	25	0.4
税金等調整前中間純利益	418	7.5
法人税、住民税及び事業税	12	0.2
法人税等調整額	166	3.0
中間純利益	239	4.3

中間連結剰余金計算書

(平成17年4月1日から平成17年9月30日まで)

(単位：百万円)

科 目	金 額
(資本剰余金の部)	
資本剰余金期首残高	3,101
資本剰余金中間期末残高	3,101
(利益剰余金の部)	
利益剰余金期首残高	3,170
利益剰余金増加高	239
利益剰余金減少高	90
利益剰余金中間期末残高	3,320

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(平成17年4月1日から平成17年9月30日まで)

(単位：百万円)

科 目	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	877
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 111
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 118
現金及び現金同等物の換算差額	0
現金及び現金同等物の増減額	647
現金及び現金同等物の期首残高	2,357
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,005

単独財務諸表

中間貸借対照表 (平成17年9月30日現在)

科 目	金 額	構成比
(資産の部)		%
流動資産	7,429	49.1
現金及び預金	2,966	
受取手形及び売掛金	3,304	
棚卸資産	670	
繰延税金資産	313	
その他	175	
貸倒引当金	△ 1	
固定資産	7,698	50.9
有形固定資産	6,225	41.1
建物及び構築物	3,808	
機械装置及び運搬具	864	
土地	1,403	
その他	149	
無形固定資産	28	0.2
投資その他の資産	1,445	9.6
投資有価証券	1,050	
繰延税金資産	171	
その他	229	
貸倒引当金	△ 5	
資産合計	15,128	100.0

(注) 有形固定資産の減価償却累計額 当中間期 13,055百万円

中間損益計算書

(平成17年4月1日から平成17年9月30日まで)

科 目	金 額	構成比
(負債の部)		%
流動負債	2,998	19.8
支払手形及び買掛金	1,945	
短期借入金	210	
一年内返済予定の長期借入金	80	
その他	762	
固定負債	1,171	7.8
長期借入金	120	
退職給付引当金	613	
役員退職慰労引当金	102	
預り保証金	335	
負債合計	4,169	27.6
(資本の部)		
資本金	4,304	28.5
資本剰余金	3,101	20.5
利益剰余金	3,249	21.5
その他有価証券評価差額金	428	2.8
自己株式	△126	△0.9
資本合計	10,958	72.4
負債及び資本合計	15,128	100.0

科 目	金 額	百分比
売上高	5,432	100.0
売上原価	3,939	72.5
売上総利益	1,492	27.5
販売費及び一般管理費	1,077	19.8
営業利益	415	7.6
営業外収益	25	0.5
受取利息及び受取配当金	11	
為替差益	10	
その他	3	
営業外費用	3	0.1
支払利息	3	
その他	－	
経常利益	436	8.0
特別利益	－	－
特別損失	25	0.5
税引前中間純利益	411	7.6
法人税、住民税及び事業税	10	0.2
法人税等調整額	165	3.1
中間純利益	235	4.3
前期繰越利益	448	
中間未処分利益	683	

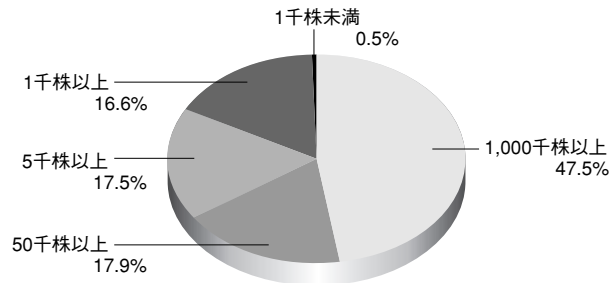
株式の概況 (平成17年9月30日現在)

会社が発行する株式の総数 150,000,000株
 発行済株式の総数 38,990,870株
 株主数 6,390名
 大株主の状況

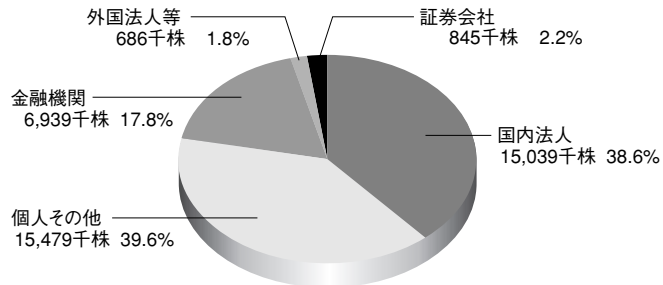
株主名	当社への出資状況	
	持株数	出資比率
沖電気工業株式会社	13,075千株	33.53%
明治安田生命保険相互会社	2,125	5.44
株式会社損害保険ジャパン	2,000	5.12
沖電線取引先持株会	1,307	3.35
株式会社みずほコーポレート銀行	575	1.47
みずほ信託銀行株式会社	436	1.11
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	429	1.10
林達也	400	1.02
沖ウインテック株式会社	266	0.68
鎌田	251	0.64

(注)上記のほか、当社が保有している自己株式627,862株があります。なお、当該株式数は株主名簿上の数であり、実質的な保有株式数は626,862株であります。

株式の所有株式数別の状況



株式の所有者別の状況



会社の概要 (平成17年9月30日現在)

設立	昭和11年7月16日
資本金	4,304百万円
従業員数	373名
主な事業内容	電線・ケーブル：機器用電線、放電加工機用電極線、通信ケーブル、光製品 電子部品他：フレキシブル基板、ワイヤーハーネス、統合配線システム、テナント
役員	取締役社長 榊 靖 夫 常勤監査役 信岡 良明 常務取締役 斎 藤 實 常勤監査役 古野 尚郎 取締役 植松 秀雄 監査役 稲川 隆久 取締役 佐藤 弘史 監査役 和田 健司 取締役 松野 正徳 取締役 原 説 秀

- (注) 1. 取締役原説秀氏は、商法第188条第2項第7号ノ2に定める社外取締役であります。
2. 常勤監査役信岡良明氏、監査役稲川隆久氏および監査役和田健司氏は、株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律第18条第1項に定める社外監査役であります。

株主メモ

決算期	3月31日
定時株主総会	6月
基準日	3月31日
配当金受領株主確定日	その他必要があるときは、あらかじめ公告して定める日
名義書換代理人	3月31日および中間配当を行うときは9月30日 〒103-8670 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
同連絡先	〒135-8722 東京都江東区佐賀一丁目17番7号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-288-324 (フリーダイヤル)
同事務取次所	みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 みずほインバスターズ証券株式会社 本店および全国各支店
公告掲載新聞	日本経済新聞
決算公告のホームページのご案内	当社の決算公告につきましては、当社のホームページに記載しておりますので、こちらでご覧いただけます。 http://www.okidensen.co.jp/

OKI 沖電線株式会社

[本 社]	川崎市中原区下小田中2丁目12番8号	(〒211-8585)	☎ (044) 754-4351
[営 業 所]			
群馬営業所	群馬県伊勢崎市境伊与久3344番地1	(〒370-0105)	☎ (0270) 76-4300
福島営業所	福島市庄野字立田1番1号 株式会社沖データ内	(〒960-2196)	☎ (024) 594-2277
名古屋営業所	名古屋市中区錦1丁目11番20号 大永ビル	(〒460-0003)	☎ (052) 201-2130
長野営業所	長野県岡谷市長地御所2丁目10番1号	(〒394-8686)	☎ (0266) 27-1597
大阪営業所	大阪府吹田市金田町5番18号	(〒564-0045)	☎ (06) 6337-2681
福岡営業所	福岡市中央区長浜1丁目1番35号 新KBCビル	(〒810-0072)	☎ (092) 738-1685
	沖ウインタック株式会社 九州支店内		
[工 場]			
群馬工場	群馬県伊勢崎市境伊与久3344番地1	(〒370-0105)	☎ (0270) 76-4311
岡谷工場	長野県岡谷市長地御所2丁目10番1号	(〒394-8686)	☎ (0266) 27-2255

